



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東
コード番号 6794 URL <https://www.foster.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 岸 和宏
問合せ先責任者 (役職名) IR・ガバナンス統括部長 (氏名) 小菅 一郎 TEL 042-546-2305
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	90,844	2.5	3,862	433.9	4,007	228.5	2,480	-
2023年3月期第3四半期	88,612	35.1	723	-	1,219	-	△241	-

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 6,506百万円 (97.9%) 2023年3月期第3四半期 3,287百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	111.65	-
2023年3月期第3四半期	△10.91	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	101,360	62,611	55.3	2,522.17
2023年3月期	92,871	56,515	55.0	2,302.49

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 56,098百万円 2023年3月期 51,095百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	10.00	-	10.00	20.00
2024年3月期	-	10.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	△1.1	4,000	63.5	3,500	50.3	2,000	135.7	90.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	25,000,000株	2023年3月期	25,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,757,705株	2023年3月期	2,808,421株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	22,221,109株	2023年3月期3Q	22,187,031株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）における世界経済は、約3年にわたる新型コロナウイルス感染拡大の終息により経済活動の再開が本格化する一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化やイスラエル・ハマス衝突等の地政学リスクの高まりもあり、不透明感が継続しています。また、先進国ではインフレが沈静化しつつあるものの、米欧での政策金利は依然高止まりし、さらには中国経済の不透明感等もあり、引き続き世界情勢は予断を許さない状況が続いています。

当社グループが注力する自動車関連市場では、半導体不足の緩和、電気自動車（EV）の生産・販売拡大等もあり、販売回復基調が続きました。

こうした中、当社グループは中期事業計画に定めた「パートナー戦略」を推進し、需要予測の精度を高め最適な生産体制、在庫量を保持すべく努め、引き続き継続的な原価改善施策を推進しました。また、地政学リスクを見据えたベトナム（ビンズオン省）工場でのスピーカ生産、地産地消と物流面でのCO2削減を目指した欧州・ハンガリー工場の立ち上げ準備も予定通り進んでいます。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は90,844百万円（前年同期比2.5%増）の増収、損益面では、営業利益が3,862百万円（前年同期比433.9%増）、経常利益が4,007百万円（前年同期比228.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が2,480百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失241百万円）の増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

[スピーカ事業]

自動車関連市場は、販売回復基調が続く中、第1四半期において一部顧客においてサプライチェーン混乱時に積み増した在庫調整に伴う出荷数量の減少があったものの、第2四半期、第3四半期における順調な売上回復により、売上高は72,649百万円（前年同期比0.8%増）の増収となりました。損益面では、韓国の連結子会社（12月決算※）が昨年度第1四半期に計上した空輸費用7億円余りが無くなったことや海上運賃の低下等に加え、継続的な原価改善策の結果、営業利益は3,585百万円（前年同期比465.5%増）と大幅な増益となりました。

※韓国連結子会社は12月決算のため、当社グループの当第3四半期連結累計期間には2023年1月～9月を連結対象としています。

[モバイルオーディオ事業]

民生用アクチュエータは、第2四半期までは計画通りの出荷となりました。一方、第3四半期に出荷数量の調整があったことから、売上高は11,477百万円（前年同期比5.2%増）の増収となりましたが、損益面では、営業利益は592百万円（前年同期比2.6%減）の減益となりました。

[その他事業]

小型音響部品事業や「フォステクス」ブランドの製品を含むその他事業は、接近通報音用スピーカ等の販売から売上高は9,140百万円（前年同期比19.4%増）と増収となりました。一方、損益面では、当社が小型音響部品事業について製造委託している南華天星電子（深圳）有限公司の当社中国工場への生産移管計画に係わる費用計上により、315百万円（前年同期は518百万円の営業損失）の営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、主に現金及び預金、有形固定資産の増加により前連結会計年度末に比べ8,489百万円増加して101,360百万円となりました。負債は、主に買掛金と長期借入金の増加により前連結会計年度末に比べ2,393百万円増加して38,749百万円となりました。純資産は、主に利益剰余金、為替換算調整勘定の増加により前連結会計年度末に比べ6,096百万円増加して62,611百万円となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末比0.3ポイント増の55.3%になりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより18,868百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,221百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、仕入債務の増加等により12,440百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、設備投資等により4,113百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、短期借入金の減少等により3,687百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,646	18,868
受取手形及び売掛金	24,988	24,087
電子記録債権	482	494
有価証券	—	215
製品	20,037	20,265
原材料	8,195	8,395
仕掛品	1,492	1,348
貯蔵品	137	129
未収入金	813	1,704
前渡金	3,096	588
その他	1,173	1,939
貸倒引当金	△169	△134
流動資産合計	73,893	77,901
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,718	8,071
機械装置及び運搬具（純額）	4,122	4,595
工具、器具及び備品（純額）	1,764	1,880
土地	1,575	3,372
建設仮勘定	848	1,031
有形固定資産合計	15,030	18,951
無形固定資産		
ソフトウェア	81	106
その他	132	149
無形固定資産合計	214	255
投資その他の資産		
投資有価証券	1,446	1,971
長期前払費用	82	152
退職給付に係る資産	1,313	1,401
繰延税金資産	669	527
その他	221	198
投資その他の資産合計	3,732	4,251
固定資産合計	18,977	23,458
資産合計	92,871	101,360

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,380	12,734
短期借入金	17,156	11,648
1年内返済予定の長期借入金	300	575
未払金	2,909	2,886
リース債務	137	463
未払法人税等	839	652
未払費用	2,274	2,104
賞与引当金	432	540
その他	1,369	1,384
流動負債合計	34,799	32,990
固定負債		
長期借入金	—	3,175
繰延税金負債	564	634
リース債務	131	1,367
退職給付に係る負債	81	87
役員退職慰労引当金	24	26
株式給付引当金	188	139
資産除去債務	264	—
その他	302	327
固定負債合計	1,556	5,758
負債合計	36,356	38,749
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,770	6,770
資本剰余金	6,896	6,896
利益剰余金	34,531	36,565
自己株式	△4,152	△4,077
株主資本合計	44,045	46,154
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	385	670
為替換算調整勘定	6,687	9,297
退職給付に係る調整累計額	△22	△24
その他の包括利益累計額合計	7,050	9,943
非支配株主持分	5,419	6,512
純資産合計	56,515	62,611
負債純資産合計	92,871	101,360

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	88,612	90,844
売上原価	77,615	76,883
売上総利益	10,996	13,960
販売費及び一般管理費	10,273	10,098
営業利益	723	3,862
営業外収益		
受取利息	67	115
受取配当金	30	37
補助金収入	66	4
為替差益	561	481
雑収入	251	212
営業外収益合計	978	852
営業外費用		
支払利息	333	543
雑損失	148	163
営業外費用合計	481	707
経常利益	1,219	4,007
特別利益		
固定資産売却益	—	701
資産除去債務戻入益	—	133
特別利益合計	—	835
特別損失		
特別退職金	254	—
経済補償金	—	488
特別損失合計	254	488
税金等調整前四半期純利益	964	4,354
法人税、住民税及び事業税	993	1,003
法人税等調整額	△120	△13
法人税等合計	872	989
四半期純利益	92	3,364
非支配株主に帰属する四半期純利益	334	884
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△241	2,480

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	92	3,364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	285
為替換算調整勘定	3,180	2,857
退職給付に係る調整額	△5	△2
その他の包括利益合計	3,194	3,141
四半期包括利益	3,287	6,506
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,592	5,374
非支配株主に係る四半期包括利益	694	1,131

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	964	4,354
減価償却費	2,729	2,353
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	139	△54
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10	2
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△17	△46
賞与引当金の増減額 (△は減少)	150	110
補助金収入	△66	△4
固定資産売却益	—	△701
経済補償金	—	488
特別退職金	254	—
資産除去債務戻入益	—	△133
受取利息及び受取配当金	△98	△153
支払利息	333	543
為替差損益 (△は益)	1,492	274
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,940	1,949
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,421	1,175
仕入債務の増減額 (△は減少)	△477	2,799
未収入金の増減額 (△は増加)	△150	△821
未払金の増減額 (△は減少)	△968	△138
前渡金の増減額 (△は増加)	△3,078	2,725
その他	1,714	△204
小計	△3,428	14,520
利息及び配当金の受取額	98	153
利息の支払額	△333	△543
補助金の受取額	66	4
経済補償金の支払額	—	△488
特別退職金の支払額	△254	—
法人税等の支払額	△642	△1,206
法人税等の還付額	438	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,055	12,440
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△207
有価証券の償還による収入	839	—
投資有価証券の取得による支出	△0	△149
有形固定資産の取得による支出	△1,974	△3,932
無形固定資産の取得による支出	△19	△43
有形固定資産の売却による収入	—	330
長期前払費用の取得による支出	△56	△128
定期預金の増減額 (△は増加)	112	—
その他	△161	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,261	△4,113
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,154	△6,342
長期借入れによる収入	—	3,750
長期借入金の返済による支出	△668	△300
配当金の支払額	△223	△447
非支配株主への配当金の支払額	—	△92
自己株式の取得による支出	—	△0
その他	—	△254
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,262	△3,687
現金及び現金同等物に係る換算差額	489	581
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,435	5,221
現金及び現金同等物の期首残高	12,089	13,646
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,525	18,868

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度において、「流動負債」及び「固定負債」の「その他」に含めていた「リース債務」は、金額的重要性が増したため、第2四半期連結会計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「その他」に表示していた137百万円及び「固定負債」の「その他」に表示していた131百万円は、「リース債務」として組替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	スピーカー事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	72,037	10,907	5,667	88,612	—	88,612
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,985	1,985	△1,985	—
計	72,037	10,907	7,653	90,598	△1,985	88,612
セグメント利益又は損失 (△)	633	608	△518	723	△0	723

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	スピーカー事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	72,649	11,477	6,717	90,844	—	90,844
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	2,422	2,422	△2,422	—
計	72,649	11,477	9,140	93,266	△2,422	90,844
セグメント利益又は損失 (△)	3,585	592	△315	3,862	—	3,862

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。